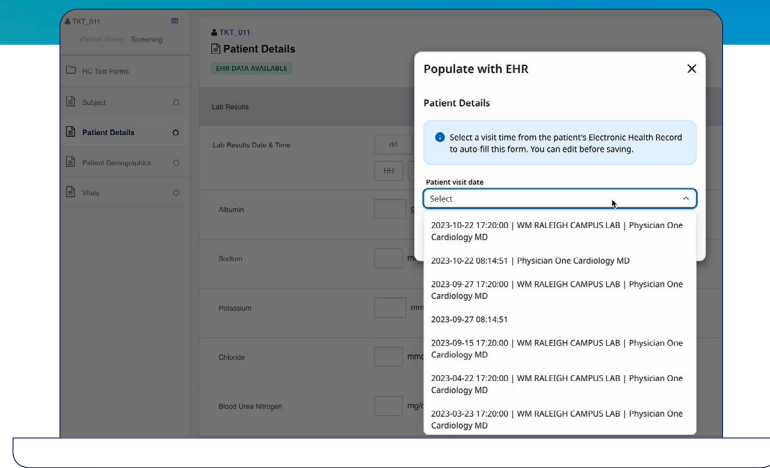


Medidata Health Record Connect

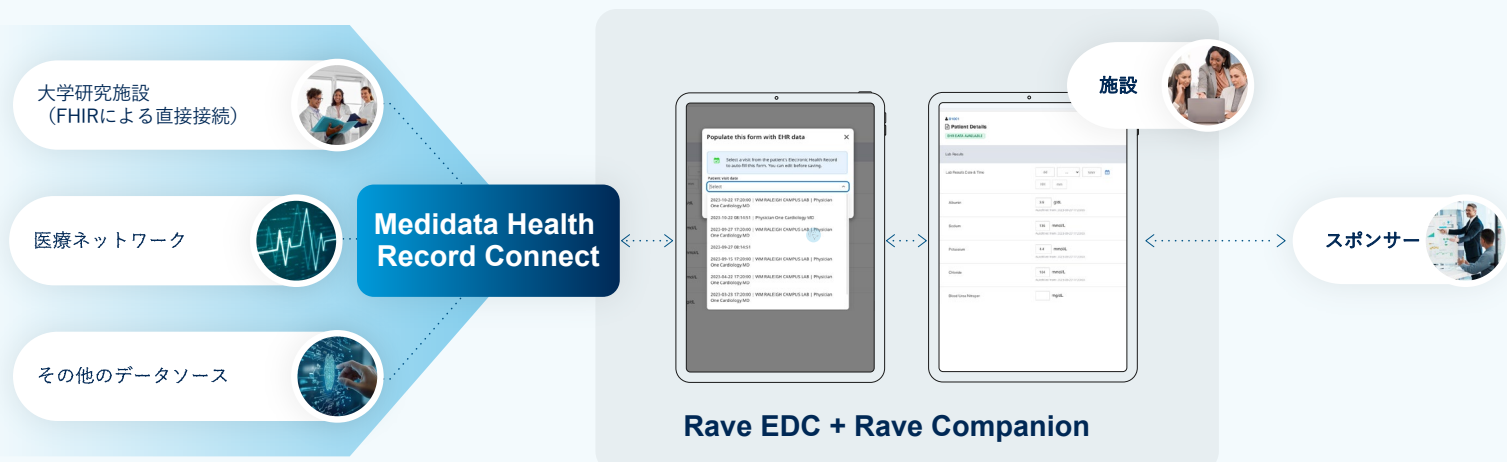
EHRとEDCのシームレスな連携を実現

長年にわたり、治験実施施設では、施設のEHR（電子健康記録）システムのデータを、EDC（電子データ収集）ソフトウェアに手作業で入力し直す作業を行ってきました。何度もウィンドウ間を往復する方法では、手作業による無駄な労力や転記ミスが発生し、クエリが増加を招きます。

Medidata Health Record Connectは、EHRデータの取得・変換・交換を、規制に則った方法で安全に行うための医療データ相互運用エンジンです。Medidata Rave Companionは、わずか数回のクリックで、検証済みのEHRデータをRave EDCのフォームに自動入力することにより、臨床試験のデータ入力を簡略化します。これらを組み合わせた本ソリューションは、データ入力を高速化し、転記ミスをなくし、クエリを減少させます。



他のEHRからEDCへのデータ取込みソリューションとは異なり、Rave Companionは、Rave EDCに直接接続できるように構築された唯一のソリューションであり、追加ソフトウェアのインストールや追加のログインは不要です。Health Record Connect独自の医療データ相互運用手法を利用することにより、治験実施施設では、EHRとの複雑な統合作業やデータマッピングを行うことなく、すぐに使用を開始することができます。そのため、IT上の負担を増やすことなく、効率化を実現できます。Health Record Connectは、米国内で、トップクラスの治験実施施設の90%以上に加え、何千もの施設と接続されています。



メリット

治験実施施設

- 治験コーディネーター：ミスや解決すべきクエリが減少するため、Rave EDCのフォーム入力を最大90%高速化できます。
- 施設の責任者：治験コーディネーターにかかるデータ入力の負担を軽減して、さらに多くの試験の受託（実施）が可能になります。

CRO・スポンサー

- 臨床開発モニター（CRA）およびデータマネージャー：転記ミスがなくなるため、データレビューやクエリの発行にかかる時間を削減できます。
- CRAおよびセントラルモニタリング担当者：データソースが電子ソースであるため、原資料との照合（SDV）にかかる労力を削減できます。

特長

Rave EDCのフォームに自動入力

患者のEHRから、臨床検査結果、バイタルサイン、治療薬、病歴や社会歴のデータをRave EDCのフォームに自動入力。特定の来院日またはEHRの値を選択すると、当該日のすべての関連EHRの値がフォームに入力されます。



監査証跡の記録

Rave EDCのフォームへのEHRデータの入力に関しては、実行者、実行日時、入力方法（選択、自動入力、手入力）や入力／変更された値等の、すべての操作を記録します。本機能は完全なトレーサビリティを実現し、データポイントごとのSDVの必要性の有無を判断する際に役立ちます。



これは本当に素晴らしい機能であり、医療記録を取得してMedidata（Rave EDC）に入力できるため、精度とスピードが向上します。クリックするだけでMedidataに記録を取り込める点が、本当に気に入っています。便利で素早く、時間を節約できます。

Melissa Thomas

研究データコーディネーター
ユタ大学ハンツマンがん研究所

全健康記録を検索・フィルタリング・閲覧

自動でマッチするEHRデータがなかったEDCフォームのフィールドに関しては、患者の健康記録を検索し、その結果をフィルタリングして適切な値を特定できます。選択肢の選択が必要なフィールドに関しては、患者の全健康記録を閲覧して、適切な選択肢を迅速に特定できます。

AIを活用したエビデンスで、患者様への道のりを短縮

より迅速な実行。リスクの早期検出。より安全で予測可能な試験を大規模に実現。メディデータは、試験のライフサイクル全体を同期させる一つまり、Patient Experience（患者体験）、Data Experience（データ体験）およびStudy Experience（試験体験）を1つのプラットフォームに統合することで、現代の臨床試験における課題の克服を支援します。数十年にわたる独自データで学習したAIを活用し、メディデータは、IDC社やEverest Group社といったリーダー達に認められた実績あるイノベーションを携えて、お客様がより迅速に前進するための明確な指針を提供します。

